

## 2022年度（2023年3月期）連結決算概要 および 2023年度（2024年3月期）業績予想

### 1. 2022年度（2023年度3月期）決算実績 <対前期>

#### (1) 決算実績のポイント 増収増益：増収は2期連続、増益は3期連続（純利益ベース）

都市ガス販売量	△ 572百万m <sup>3</sup> : 高気温影響等による家庭用需要減および工業用（発電専用）需要稼働減等
電力販売量	+6,157百万kWh : 小売件数増および卸供給先の需要増による販売量増
売上高	+11,348億円 : 原料費調整に伴う単価増などによる「エネルギー・ソリューション」の売上高増等
営業費用	+8,408億円 : 原油価格上昇影響などによる「エネルギー・ソリューション」の原材料費増等
営業外損益	△ 215億円 : 為替差損益 △95億円、持分法による投資損益 △81億円等
特別損益	△ 14億円 : (当期) 投資有価証券売却益 +37億円、事業譲渡益+35億円 減損損失 △40億円、投資有価証券評価損 △24億円、長期貸付金評価損 △21億円 (前期) 投資有価証券売却益 +41億円、固定資産売却益 +22億円 減損損失 △37億円、投資有価証券評価損 △24億円
株主還元	: 1株当たり32.5円の期末配当を実施します（1株当たり年間配当額 65円）。 : 1,130億円・5,300万株（12.2%）を上限に自己株式取得を実施します。

(注) 2022年4月1日に当社のガス導管事業等を当社の100%子会社である東京ガスネットワーク株式会社に承継させる吸収分割を行ったことにより、当社はガス事業会計規則に定める一般ガス導管事業者には該当しなくなったため、検針日基準から引渡基準へ会計方針を変更しており、2021年度に係る各数値は遡及適用後の数値を記載しています。

#### <2023年3月末現在連結会社数：連結子会社 102社、持分法適用関連会社 15社> (単位:億円)

決算実績表	2022年度	2021年度	増減	%
売上高 (歴代1位)	32,896	21,548	11,348	52.7
営業費用	28,681	20,273	8,408	41.5
営業利益 (歴代1位)	4,214	1,275	2,939	230.5
経常利益 (歴代1位)	4,088	1,364	2,724	199.6
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代1位)	2,809	957	1,852	193.5

#### <参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライド差(※)	2,108	△ 6	2,114
年金数理差異償却額影響	△ 44	109	△ 153

(※) 原料費調整制度において原油価格の上昇（下落）に伴う原材料費の増加（減少）が売上高の増加（減少）に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2022年度	2021年度	増減
為替レート(¥/\$)	135.50	112.39	23.11
原油価格(\$/bbl)	102.67	77.18	25.49
平均気温(°C)	16.8	16.2	0.6

#### (2) 都市ガス・電力販売量

		2022年度	2021年度	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m <sup>3</sup>	2,802	3,083	△ 281	△ 9.1
	業務用	百万m <sup>3</sup>	2,224	2,256	△ 32	△ 1.4
	工業用	百万m <sup>3</sup>	5,932	6,198	△ 266	△ 4.3
	計	百万m <sup>3</sup>	8,156	8,453	△ 297	△ 3.5
	他事業者向け供給	百万m <sup>3</sup>	1,616	1,609	7	0.4
合計	百万m <sup>3</sup>	12,574	13,146	△ 572	△ 4.4	

家庭用 : 高気温影響等による需要減  
業務用 : 高気温影響等による需要減  
工業用 : 需要稼働減  
他事業者向け供給 : 供給先稼働増

小売お客さま件数(千件) : 8,701 (対前期+13) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。  
取付メーター数(千件) : 12,331 (対前期+129) ※取付メーター数は、導管事業者としてのメーター取付数。

		2022年度	2021年度	増減	%	
電力	小売	百万kWh	12,019	11,305	714	6.3
	卸他	百万kWh	22,426	16,983	5,443	32.1
	合計	百万kWh	34,445	28,288	6,157	21.8

小売 : 件数増による販売量増  
卸他 : 卸先の需要増

小売お客さま件数(千件) : 3,475 (対前期+461) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

#### (3) セグメント別売上高・セグメント利益 (単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2022年度	2021年度	増減	%	2022年度	2021年度	増減	%
エネルギー・ソリューション	30,311	—	—	—	3,659	—	—	—
ガス(ネットワーク除く)	19,744	—	—	—	2,940	—	—	—
電力	8,559	4,674	3,885	83.1	509	112	397	351.7
ネットワーク	3,703	—	—	—	△ 3	—	—	—
(概算値)エネ・ソリュ+ネットワーク	34,015	20,839	13,176	63.2	3,656	1,338	2,318	173.1
海外	1,599	858	741	86.2	679	265	414	156.1
都市ビジネス	626	579	47	8.1	151	132	19	14.2
調整額	△ 3,345	△ 728	△ 2,617	—	△ 317	△ 424	107	—
連結	32,896	21,548	11,348	52.7	4,170	1,312	2,858	217.7

(注) ・「ガス(ネットワーク除く)」には都市ガス(ネットワーク除く)・LNG販売・トレーディングを含みます。

・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含みます。

・「エネルギー・ソリューション」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング、電力、インフラソリューション、ガス器具、建設、クレジット、情報処理サービス、船舶等を含みます。

・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

#### (4) 主要数値 (単位:億円、%)

	2022年度	2021年度	増減		2022年度	2021年度	増減	
設備投資	2,132	2,072	60	D/Eレシオ	0.81	0.98	△ 0.17	0.76
営業キャッシュ・フロー	4,902	2,966	1,936	ROA	8.3	3.2	5.1	※ 発行済みハイブリッド社債・ROAの資本性50%を調整
有利子負債	12,632	12,205	427	ROE	20.0	7.9	12.1	

### 2. 2023年度（2024年3月期）業績予想

#### (1) 通期見通しのポイント 対前期 減収減益（純利益ベース）

都市ガス販売量	△565百万m <sup>3</sup> : 発電需要減に伴う工業用の減等
電力販売量	△5,656百万kWh : 卸向け販売量減等
売上高	△3,926億円 : 販売量減・販売単価減などによるガス事業・電力事業の売上減等
営業費用	△1,211億円 : 販売量減・単価減などによるガス事業の原材料費減等
営業利益	△2,714億円 : ガス事業・電力事業の利益減、 販売単価減等による海外事業の利益減等

(単位:億円)				
	2023年度	2022年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	12,009	12,574	△ 565	△ 4.5
電力販売量(百万kWh)	28,789	34,445	△ 5,656	△ 16.4
売上高	28,970	32,896	△ 3,926	△ 11.9
営業費用	27,470	28,681	△ 1,211	△ 4.2
営業利益	1,500	4,214	△ 2,714	△ 64.4
経常利益	1,370	4,088	△ 2,718	△ 66.5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,000	2,809	△ 1,809	△ 64.4

経済フレームほか	2023年度	2022年度	増減
為替レート(¥/\$)	130.00	135.50	△ 5.50
原油価格(\$/bbl)	90.00	102.67	△ 12.67
平均気温(°C)	16.3	16.8	△ 0.5
スライド差(億円)	393	2,108	△ 1,715

#### 為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度 (単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	46	58	△ 12
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	33	44	△ 11